

震災マニュアル指南

藤沢の大型マンションで

NPO法人

特定非営利活動法人(NPO法人)のライフ・コンセプト100(横浜、藤沢、相模原)の代表は、マンションの震災対応マニュアル策定を指南するサービスを始めた。第1弾として2013年完成の神奈川県藤沢市内の大型マンションで提供。居住者が参加してマニュアルを策定するのが特長。居住者の防災意識を高め、災害時に迅速な対応ができるという。

新サービスはマンション管理士などが毎月出向

き、マンション管理組合を介して居住者とマニュアルを作成する。居住者の年齢や家族構成を調査しながら、震災時の避難方法や備蓄食料の配布手順などを1〜2年かけて作成する。マニュアル作成の進捗度合いは回覧板

などで全居住者に適宜報告。防災訓練をしてマニュアルに不備がないかも確認する。一般的な震災対策マニュアルはマンション完成時に用意した避難経路を定めた程度のもものが多く、高齢者世帯の避難誘

導方法など、各マンションの居住状態に合わせたマニュアルは少ないという。

第1弾として、大京が現在販売中で13年入居予定の約300戸の大型マンション「ライオンズ」条レジデンス湘南C1「X」向けに提供する。サービス価格は個別に見積もるが、50戸程度の物件で40万〜50万円を想定している。首都圏を中心に今後2年間で300

物件のサービス契約を目的とする。同法人はマンションを主業務としている。物件のサービス契約を目的とする。同法人はマンションを主業務としている。